

● 1000BASE-T インターフェース仕様

RJ-45 型のモジュラージャックを使用しています。

	コンタクト	MDI	MDI-X
	1	BI_DA +	BI_DB +
	2	BI_DA -	BI_DB -
	3	BI_DB +	BI_DA +
	4	BI_DC +	BI_DD +
	5	BI_DC -	BI_DD -
	6	BI_DB -	BI_DA -
	7	BI_DD +	BI_DC +
	8	BI_DD -	BI_DC -

※ 本製品は MDI-X には対応しておりません。

● 1000Mbps 光ポートインターフェース仕様

	MC1004	MC1005	MC1005LH2
光ポート	2 連 SC コネクター		
中心波長	850nm	1310nm	
送信光レベル	最大 0dBm	-3dBm	1dBm
受信光レベル	最小 -9.5dBm	-9.5dBm[SMF] -11.5dBm[MMF]*2	-4dBm
受信光レベル	最大 0dBm	-3dBm	-3dBm
	最小 -17dBm	-20dBm	-21dBm
許容損失*1	7.5dB	10.5dB[SMF] 8.5dB[MMF]*2	17dB*3

※ 1 同一製品を対向で使用した場合は。
※ 2 マルチモードファイバーを使用する際には、対応するモードコンディショニング・パッチコードを使用してください。
※ 3 使用環境によっては、アッテネーターが必要となる場合があります。

● 本製品シリーズ共通

準拠規格	
IEEE 802.3ab	1000BASE-T
IEEE 802.3z	MC1004: 1000BASE-SX MC1005: 1000BASE-LX MC1005LH2: 1000BASE-X (PMD 部を除く)
適合規格	
安全規格	UL1950, CSA-C22.2 No.950
EMI 規格	VCCI クラス A
電源部	
定格入力電圧	AC100-120V
入力電圧範囲	AC90-132V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.5A
最大入力電流 (実測値)	0.1A
平均消費電力	3.3W (最大 6.0W)
平均発熱量	12.0kJ/h (最大 21.6kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	105 (W) × 95 (D) × 25 (H) mm
質量	
	300g (AC アダプターを含まず)

10 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口
📞 0120-860332
携帯電話／PHS からは：045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

11 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター
http://www.allied-tele시스.co.jp/support/info/

☎ 0120-860772
携帯電話／PHS からは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～17:00

12 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただてかまいません。

- サポートの依頼日

- お客様の会社名、ご担当者名

- ご連絡先

- ご購入先

● 製品について

製品名、製品のシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。


S/N 0047744990805087 Rev A1

図 9 シリアル番号シール（例）

● 設定や LED の点灯状態について

- LED の点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのが、またそれはどのような状況で発生するのかができる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

13 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2004-2010 アライドテレシスホールディングス株式会社

14 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

15 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

16 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

17 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」いう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

☎ 0120-860442
月～金（祝・祭日を除く）9:00～17:30

18 マニュアルバージョン

2004 年 07 月 Rev.A	初版
2004 年 10 月 Rev.B	第 2 版 表記訂正
2005 年 1 月 Rev.C	第 3 版 表記訂正
2007 年 11 月 Rev.D	第 4 版 表記訂正
2009 年 1 月 Rev.E	第 5 版 オプション追記
2010 年 9 月 Rev.F	第 6 版 表記訂正



1000BASE-T / 2 心光ファイバーギガビットイーサネット変換用メディアコンバーター

CentreCOM[®] MC1004/1005/1005LH2 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM MC1004/1005/1005LH2（以下 CentreCOM 省略）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品シリーズは、1000BASE-T ツイストペアケーブルとギガビット光ファイバーケーブルを交換する、メディアコンバーターです。

本製品を使用することにより、1000BASE-T イーサネットシステムの接続距離を光ファイバーケーブルで延長することが可能です。1000BASE-SX（MC1004）、1000BASE-LX（MC1005）、または最大 20km まで* の長距離伝送に対応した 1000Mbps 2 心 SMF ポート（MC1005LH2）で、離れたイーサネットシステムを接続します。

また、光ファイバーケーブルはノイズの影響を受けにくいため、工場や研究所などの環境にも適しています。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用を意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用

環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

1 特長

- 用途に応じて 550m ～ 20km までの最大伝送距離* を持つシリーズをラインナップ
- 超小型サイズ、軽量設計
- 一方のポートにリンク障害が発生し受信信号が消失した場合、反対側のポートのリンクを自動的に切断するミッシングリンク機能
- 問題のあるポートを自動的に切断し、LED で知らせるスマートミッシングリンク機能

- 各ポートの接続状況が LED 表示で一目でわかるリンクテスト機能

* 最大伝送距離は、使用ケーブルの損失により異なります。


オプション（別売）

- ラックマウントキット MCR12、AT-TRAY1 または AT-TRAY4 により、19 インチラックマウントへの設置が可能

- 壁設置用ブラケット AT-TRAY1 により、壁面への設置が可能

- リダンダント電源ユニット PWR4 により、ラックマウントキット MCR12 の電源の冗長化が可能

- マグネットシート S により、壁面への設置が可能



安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない 本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない 感電の原因となります。

異物や改ざんはしない 火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口はふさがらない 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のおたる場所には置かない 火災や感電の原因となります。

表示以外の電圧では使用しない 火災や感電の原因となります。本製品に付属の AC アダプターは AC100-120V で動作します。

付属の電源アダプター以外使用しない 火災や感電の原因となります。必ず、付属の AC アダプターを使用してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く 感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない 特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

光源をのぞきこまない 目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。

適切な部品で正しく設置する 取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。

付属品を使う

たこ足禁止

プラグを抜く

傷つけない

・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）

・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いにはいない 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

中性洗剤使用 ぬらすな 固く絞る

シンナー類不可

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

MC1004/1005/1005LH2共通

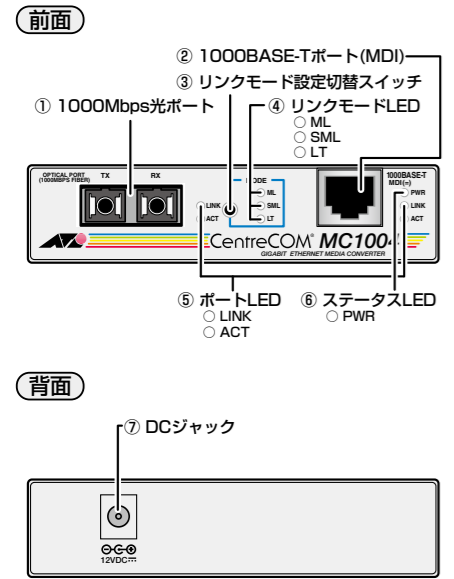


図1 外観図

- ① 1000Mbps 光ポート
光ファイバーケーブルを接続するためのコネクタです。このポートはオートネゴシエーションでリンクを確立します。通信速度は1000Mbps、通信モードはFull Duplexをサポートします。
- ② 1000BASE-T ポート (MDI)
UTPケーブルを接続するコネクタ (RJ-45) です。エンハンスト・カテゴリ-5以上のツイストペアケーブルを使用します。このポートはオートネゴシエーションでリンクを確立します。通信速度は1000Mbps、通信モードはFull Duplexをサポートします。
- ③ リンクモード設定切替スイッチ
リンクモードを設定するためのプッシュボタンです。切り替えることにより3つのモードを設定することができます。出荷時設定は「SML」です。
 - ML：ミッシングリンクモード
ミッシングリンクモードが有効になります。

1000BASE-T ポートにリンク障害が発生した場合、1000Mbps 光ポートの送信側リンクを切断します。

1000Mbps 光ポートの受信側リンクに障害が発生した場合、1000BASE-T ポートのリンクを切断します。

本製品には、1000Mbps 光ポートの送信側リンクの障害を検出する機能がありません。ミッシングリンクモードで動作中、1000Mbps 光ポートの送信側リンクに障害が発生した場合は、1000BASE-T ポートの接続機器に障害を通知できないため、1000BASE-T ポートの接続機器は、障害が発生した経路を使用して通信を継続しようとする場合があります。

○ SML：スマートミッシングリンクモード
スマートミッシングリンクモードが有効になります。

リンク障害が発生したポートを自動的にリンク切断し、問題のないポートのLINK LEDは点滅し、問題のあるポートのLINK LEDは消灯して、リンク障害を通知します。

この際、問題のないポートでは、LINK LEDの点灯と同時に、リンクアップ/リンクダウンを簡易的に繰り返して、接続機器に対して障害を伝達します。接続機器の仕様によっては、リンクアップした瞬間にパケットを転送するため、通信エラーが発生することがあります。

○ LT：リンクテストモード
リンクテストモードが有効になります。

リンク障害が発生した場合、リンクテストモードに切り替えることで、問題のないポートのLINK LEDは点灯し、問題のあるポートのLINK LEDは消灯して、リンク障害を通知します。

- ④ リンクモード LED
 - ML LED (緑)
ミッシングリンクモードが有効なときに点灯します。
 - SML LED (緑)
スマートミッシングリンクモードが有効なときに点灯します。
 - LT LED (緑)
リンクテストモードが有効なときに点灯します。
- ⑤ ポート LED
 - LINK LED (緑)
リンクが確立しているときに点灯します。スマートミッシングリンクモードが有効で、リンク障害が発生した場合は、スタンバイ状態のポートのLINK LEDが点滅します。
 - ACT LED (緑)
データを送受信しているときに点灯します。

- ⑥ ステータス LED
 - PWR LED (緑)
本体に電源が供給されているときに点灯します。
- ⑦ DC ジャック
ACアダプターのDCプラグを接続するためのコネクタです。

5 設置

製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認ください。なお、適切に設置を行ってください。

設置方法

- 本製品は、次の方法による設置ができます。
 - ゴム足による水平方向の設置
- オプション (別売) を利用することにより、次の方法による設置ができます。
 - ラックマウントキットによる 19 インチラックへの設置
 - 壁設置ブラケットによる設置
 - マグネットシートによる設置

- ・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。
- ・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほごりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

設置

● ゴム足による水平方向の設置

- 1. ゴム足を貼り付ける
ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本体底面の四隅に同梱のゴム足を貼り付けてください。

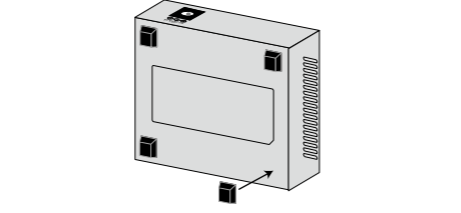


図2 ゴム足の貼り付け位置

2. ケーブルクランプを貼り付ける

DCケーブルの抜けを防止するために、ケーブルクランプの接着シールをはがし、本体背面に貼り付けてください。

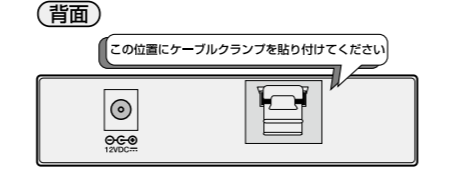


図3 ケーブルクランプの貼り付け位置

オプション (別売) を利用した設置

● 19 インチラックへの設置

本製品を 19 インチラックに取り付ける場合には、オプションの 19 インチラックマウントキット MCR12、AT-TRAY1 または AT-TRAY4 をご使用ください。

- ・ラックマウントキットの使用法は、ラックマウントキットに同梱されている取扱説明書をご参照ください。

- ・本製品をオプションの 19 インチラックマウントキットを使用して 19 インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

- ・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジ等を使用した場合、感電、火災、故障等の危険があります。

- ・MCR12に取り付ける場合、本製品からゴム足とケーブルクランプを外してください。AT-TRAY1 または AT-TRAY4に取り付ける場合、本製品からゴム足を外してください。(ケーブルクランプの貼り付け位置によりケーブルクランプを外する必要があります。)

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット AT-TRAY1 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・壁設置ブラケットの使用法は、AT-TRAY1 の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

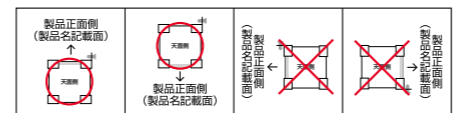


図4 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

- ・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

- ・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。
- ・壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。
- ・壁設置ブラケットを使用する際は、本製品からゴム足を外してください。(ケーブルクランプの貼り付け位置によりケーブルクランプを外する必要があります。)

● マグネットシートによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネットシート S を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・マグネットシート S の使用法は、マグネットシート S の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

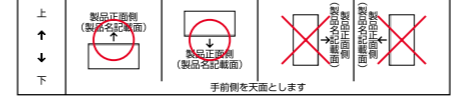


図5 マグネットシートを使用する場合の設置方向

- ・設置面の状態によっては、マグネットシートの十分な強度を得られない場合があります。

- ・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

- ・マグネットシートの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

- ・マグネットシートの取り付けは、マグネットシートの取扱説明書に従って正しく行ってください。

6 接続

1. 各メディアのケーブルを接続する

-1000BASE-T ポート-

UTPケーブルで接続します。本製品の1000BASE-T ポートは10Mbps/100Mbps、およびHalf Duplexでの接続はサポートしていません。

接続先ポート	通信速度 1000Mbps				
	Half Master 固定	Half Slave 固定	Full Master 固定	Full Slave 固定	AUTO
MC100x自ポート (1000/Full)	—	—	—	—	○

- ・UTPケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

-1000Mbps 光ポート-

1000Mbps 光ポートに、各製品対応の光ファイバーケーブルを接続します (「9 製品仕様」項参照)。2本の光ファイバーケーブルで、TX、RXの信号を伝送します。本製品の1000Mbps 光ポートはHalf Duplexでの接続はサポートしていません。

- ・光ファイバーケーブルは折れやすいので取り扱いにご注意ください。

2. 電源を接続する

DCプラグはケーブルクランプに通して本製品のDCジャックに接続し、ACプラグ側を電源コンセントに差し込みます。本体前面のステータスLEDのPWRが点灯したことを確認します。

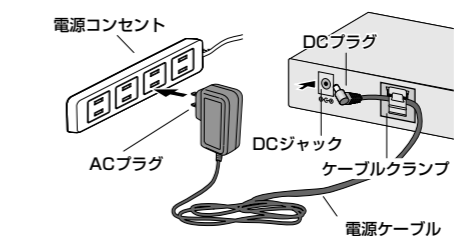


図6 ACアダプター

- ・本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されているACアダプターをご使用ください。不適切なACアダプターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

- ・本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

3. ポート LED を確認する

接続先機器の電源が入っており、各メディアのケーブルが正しく接続されているれば、接続されたポートLED (LINK) が点灯します。

4. リンクモードを設定する

必要に応じてリンクモード設定切替スイッチを設定します。

- ・目に傷害を被る場合がありますので、光ポートおよび光ファイバーケーブルはのぞきこまないでください (CLASS1 LASER PRODUCT)。

- ・MC1004/MC1005の光ポートの対向に他機種を接続する場合は、リンクモード設定切替スイッチをリンクテストモードに設定してください。

● 本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側のACプラグを抜いてください。

- ・本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間を空けてください。

7 接続例

● 接続例 1

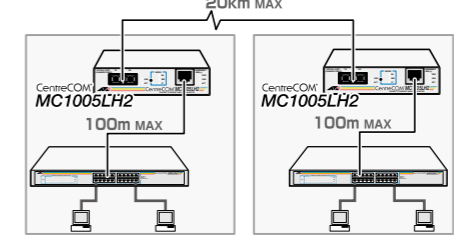


図7 接続例 1

● 接続例 2

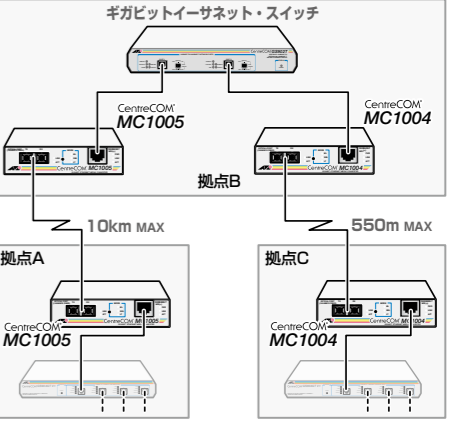


図8 接続例 2

- ・MC1005LH2は、光ポートの対向に他機種のカテゴリ-5イーサネットメディアコンバーターを使用できません。必ずMC1005LH2 同士での接続で使用してください。

8 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● ステータス LED (PWR) は点灯していますか?

PWR LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、ACプラグやDCプラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間を空けてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブル、および光ファイバーケーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。
- 接続先の機器に電源が入っているか、接続先機器が同じ通信モード (オートネゴシエーション/Full 固定) になっているかを確認してください。
- リンクモード設定切替スイッチの設定を変更しても設定通りの動作をしない場合は、ACプラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源を投入し直してください。

9 製品仕様

● 使用ケーブル

	使用ケーブル	最大伝送距離
MC1004 (1000BASE-SX)	GI 50/125 マルチモードファイバー (ITU-T G.651 準拠)	550m ^{*1}
	GI 62.5/125 マルチモードファイバー	275m ^{*2}
MC1005 (1000BASE-LX)	シングルモードファイバー (ITU-T G.652 準拠)	10km
	GI 50/125 マルチモードファイバー ^{*3} (ITU-T G.651 準拠)	550m ^{*1}
	GI 62.5/125 マルチモードファイバー ^{*3}	
MC1005LH2 (1000Mbps光)	シングルモードファイバー (ITU-T G.652 準拠)	20km ^{*4}
1000BASE-T	UTP エンハンスト・カテゴリ-5 以上	100m

*1 伝送帯域 500MHz・km 時
*2 伝送帯域 200MHz・km 時
*3 マルチモードファイバーを使用する際には、対応するモードコンディショニング・パッチコードを使用してください。
*4 使用環境によっては、アッテネーターが必要となる場合があります。